

# 『授業連携報告書』

学校名	四日市市立内部小学校						
授業のテーマ	宇宙やJAXAの活動に興味を持つ。プログラミングの良さに気づく。						
目標(授業連携をした目的等)	プログラミングを体験し、プログラミング的思考ができるようになる。 宇宙やJAXAの活動に興味を持ち、自分の考え方や視野を広げようとする。						
実施対象	学年	6	3	クラス	合計	84	名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)					
単元	発電と電気の利用		授業日	1	月	25・27	日
授業連携の前後の授業内容について							
前	月と太陽の学習(月の満ち欠けの仕組み) 発電と電気の利用の学習(手回し発電機, 光電池, コンデンサーなど)						
後	教科書にある「プログラミングを体験しよう」に取り組む。(必要な時に明かりをつけるプログラムを考える。)						
時間配分	学習内容・活動		児童・生徒の様子		学校(先生)の役割・活動		
導入 30 分	JAXAの活動紹介 簡単なプログラミングの事例を見る(おもしろい動きやクイズなど)		・興味を持って話を聞くことができた。		・本時の学習内容を確認した。		
展開 60 分	①Scrachの基本操作(できること)を知る。 ②簡単な操作体験をする。 ③人工衛星についての説明を聞く。 ④人工衛星を制御するプログラムを作成する。		・ミッション1・2については、どの子も自分の力で学習を進めることができた。ミッション3については、変数が入って難しく感じる児童もいた。		・プログラムが分からない児童への補助。 ・フリーズした児童への対応。		
まとめ 分							

## 授業連携の感想・メモ

JAXAの仕事や人工衛星に興味を持つきっかけになったと思います。宿題として出した振り返りに、人工衛星についての種類や活動内容が理解できたと書いていました。プログラミングについては、練習の時間が本校の児童にとっては少し長かったように思います。児童の技能習得段階に合わせた時間設定がオンラインでは難しいと感じました。休み時間もプログラミングの続きや改良をするなど、子どもたちはとても楽しんで学習することができました。

## 授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？ はい

②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？ はい

※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。

休み時間もプログラミングに取り組んでいる児童がいる。

※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。